

●新型コロナウイルス緊急募金のお願い

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、世界中で1,456万人以上の感染が確認され、約60万人が命を落としています(7月21日時点:WHO状況レポートより)。危機は今なお続いており、紛争や自然災害、気候変動によって以前から人道危機に直面していた国や、医療体制が整っていない途上国、難民キャンプなどの密集した場所において、急速な感染拡大の懸念が高まっています。

ユニセフの分析によると、世界の18歳未満の子どもの約77パーセント(18億人)が、COVID-19により何らかの移動制限を課している132カ国に暮らしています。移動が制限され、衰退する社会や経済の下で暮らす子どもたちは、暴力や虐待、ネグレストの被害を受けるリスクが高まっています。また女性や女の子は、ジェンダーに基づく暴力や性的暴力のリスクが高まっています。難民、移民、国内避難民の子ども、帰還者は、サービスや保護へのアクセスが低下し、外国人への嫌悪や差別にさらされる機会が増えています。

ユニセフは、新型コロナウイルスから最も弱い立場にある子どもたちを守るため、世界が連携した行動をとるよう呼びかけるとともに、影響を受けている子どもへの人道支援のために、3月下旬に要請した6億5,160万米ドルを更新し、あらためて計19億米ドルの支援を国際社会に要請します。この増加は、パンデミックが社会や経済にもたらした深刻な影響と高まるニーズを反映したものです。

新型コロナウイルス緊急募金

紛争や貧困などにより、
以前から医療体制が脆弱な途上国において
命の危険にさらされている子どもたちを最優先に、
新型コロナウイルス感染拡大に対応する
ユニセフの活動に役立てられます。

なお、本緊急募金にお寄せいただいたご寄付につきましては、
日本を含む先進国は支援対象といたしません。

郵便局(ゆうちょ銀行)

振替口座:00190-5-31000

口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会

*通信欄に「コロナ」と明記願います。

*窓口でのお振込は、送金手数料が免除されます。

*公益財団法人 日本ユニセフ協会への寄付金には、特定公益増進法人への
として、所得税、相続税、法人税の税制上の優遇措置があります。
また一部の自治体では、個人住民税の寄付金控除の対象となります。



© UNICEF/UNI325634// Frank Dejongh

ユニセフは、新型コロナウイルスの感染予防に関する正確な情報を提供するための啓発活動を展開。

その一環で、若者たちが子どもたちに正しい手洗いの方法を伝えている。

(コートジボワール)



ユニセフ・マラウイ事務所

中村友香さん

●ユニセフ日本人職員からのビデオメッセージ

新型コロナ感染は急速に拡大しており、紛争や自然災害、気候変動によってすでに人道危機に直面していた国々にも広がっています。

こうした状況の中、ユニセフは特に保健・医療システムが脆弱な国々での感染拡大に備え対応するため、世界各地で子どもたちと家族のための支援を続けています。

世界各地で支援活動に携わるユニセフの日本人職員から、それぞれの国・地域の状況とユニセフの対応の報告と日本の皆様へのメッセージが届いています。ぜひご覧ください。

アクセスは <https://www.unicef.or.jp/news/2020/0068.html>

～日本ユニセフ協会ホームページより～

●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、山口県ユニセフ協会は、現在、対面による募金活動・広報活動を自粛しています。しかし途上国の子どもたちへの支援は緊急性を要しています。引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

●「スクール・フォー・アフリカ」-モザンビークで新たな支援が始まります！

●アフリカ「ブルキナファソ」視察研修で感じたこと

昨年2月に訪れた西アフリカ「ブルキナファソ」のあちらこちらの視察先で共通に感じたのは、「字が読める・読めない」「算数ができる・できない」でその子の未来は全く変わったものになる。ということでした。厳しい環境に暮らす子どもたちが今直面する命や健康といった問題に手を差し伸べることと合わせ、「教育」支援をおこなうことは、子どもたちが貧困の連鎖を断ち切り未来を切り開いていく「鍵」を渡すことなのだ、と強く思いました。

ー山口県ユニセフ協会事務局高木ー



日本ユニセフ協会ホームページより
UNICEF/UNI220408/Pacific

●「スクール・フォー・アフリカ」について

小学校に通えない子どもは、今も世界で5,900万人いるといわれています。そしてその半数以上がサハラ砂漠以南のアフリカの子どもたちです。ユニセフでは、教育の機会から取り残されているアフリカの子どもたちが、学校に通い卒業できること、教員が質の高い授業を行うスキルを得ること、そして子どもたちが清潔で安心できる環境で学べることを目指し、アフリカのそれぞれの国や地域と協力しあいながら、さまざまな支援活動をおこなっています。この「スクールフォーアフリカ」のプログラムに対し、日本ユニセフ協会に寄せられた募金は、これまでブルキナファソの支援に充てられてきましたが、この度ブルキナファソに加え、新たにモザンビークの支援を始めるとなりました。

●「モザンビーク」ってどんな国？

アフリカ東部に位置する国、モザンビーク。日本の約2倍にあたる79.7万平方キロメートルの国土に、約3,000万人の人々が暮らしています。主要部族であるマクア・ロムウェ族が人口の約40%を占め、その他国内には約40の部族が存在する、まさに多民族国家です。宗教的にはキリスト教徒が人口の約40%、イスラム教徒が約20%を占め、その他の伝統的な宗教も多数信仰されています。公用語はポルトガル語ですがポルトガル語を第一言語とする人は人口の10%未満で、複数の言語が共存、使用されています。

ポルトガルの植民地から独立を果たした1975年以降も不安定な政情が続き、ようやく内戦が終結したのは1992年を迎えてからのことでした。その後、政治の安定化とともに経済発展が進みつつありますが、2018年時点での一人当たりの国民所得(GNI)は440米ドルで、最も開発が遅れているグループである「後開発途上国」の一つに分類されています。

主要産業は農業でとうもろこしが主な農産物ですが、近年は豊富な鉱物資源を活用した資源開発も活発に行われています。



●数字でみる「モザンビーク」

	モザンビーク	日本
5歳未満児死亡率(1,000人中)	73人	2人
出生時の平均余命(平均寿命)	60歳	84歳
出生登録率	56%	100%
基本的な飲み水を利用できる割合	56%	99%
基本的な衛生設備(トイレ)を利用できる割合	29%	100%

出典:ユニセフ「世界子供白書2019」

●モザンビークの子どもの教育事情

現在、モザンビークにおける学齢期の子ども数は約700万人に上ります。内戦終結後、初等教育純就学率は大きく上昇し、2007年の64%から2018年には93%にまで大きく改善されましたが、これは政府が学費の無償化や教科書の無料配布など、教育分野に力を注いできた成果といえます。

しかしながら、小学校で実際に行われている教育の質的改善が大きな課題になっています。初等教育の修了率は2008年の51%から2015年には35%にまで減少、望ましい学習到達度レベルに達する児童の割合は2013年の6.3%から2016年には僅か4.9%に低下するなど、モザンビークでは教育の質的改善が待たなしの状況です。

～日本ユニセフ協会ホームページより～



© UNICEF/UNI286554/Fauvrelle

●「ユニセフ・マンスリーサポート・プログラム スクール・フォー・アフリカ」にご協力を！

通常の「ユニセフ・マンスリーサポート・プログラム」は、すべての子どもたちの命と健やかな成長が守られるように、世界150以上の国と地域でユニセフが行っている保健・栄養・水と衛生・教育・子どもの保護などの活動全般に役立てられます。

「ユニセフ・マンスリーサポート・プログラム スクール・フォー・アフリカ」へのご支援は、そのなかでもサハラ以南のアフリカにおける教育支援に役立てられます。

■支援のお申込みについて■

ユニセフ・マンスリーサポート・プログラムと同じく、毎月定額の募金となります。お支払い方法は、クレジットまたは口座振替となります。

詳しくは、

「[ユニセフ スクールフォーアフリカ](#)」にアクセスください！

★公益財団法人日本ユニセフ協会への寄付金には、特定公益増進法人への寄付として、所得税・相続税・法人税の税制上の優遇措置があります。また一部の自治体では個人住民税の寄付金控除の対象になります。

●現在、全国的に感染が拡大している新型コロナウイルス感染防止の観点から、対面による募金活動・広報活動を自粛していますが、感染防止対策を徹底すれば、ソーシャルディスタンスが確保できるパネル展から活動を再開することとしました。
お近くにお住まいの方、お買い物ついでにお立ち寄りいただくと幸いです。

●ユニセフパネル展①

「もったいないばあさんのワールドレポート展」～入場無料～

地球で起きている問題と私たちのくらしとのつながりを伝えるパネル展です。
詳しくは→<http://marikoshinju.com/content/worldreport/> をご覧ください。

★開催場所：宇部市図書館
★開催月日：10月27日（火）～10月31日（土）



熱のある方は来場をご遠慮ください。
ご来場の際はマスク着用をお願いします。

●ユニセフパネル展②

「ユニセフってなあに？」～入場無料～

世界の子どもの状況と、世界中の子どもの命と健康を守る活動を続けるユニセフをわかりやすく紹介するパネル展です。

★開催場所：フジグラン宇部
★開催月日：10月22日（木）～10月25日（日）

What is unicef?

～日本ユニセフ協会からのご案内～

親子で学べるSDGsの学習サイトがオープンしました！

SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。
国だけでなく、企業や個人一人ひとりの参加が求められています。
このSDGsをわかりやすく学べるサイトをオープンしました。
是非ご覧いただき、私たちにできることを一緒に考えましょう！

持続可能な世界への第一歩

SDGs CLUB

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/>

賛助会員募集してます！

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助会費によって支援いただく方法です。
現在山口県でも多くの賛助会員の方に協力いただいています。

山口から世界の子どもたちを支えましょう！

種類	対象	賛助会費
一般賛助会員	個人	一口 5,000円
学生賛助会員	学生(18歳以上)	一口 2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	一口 100,000円

賛助会員期間は、入会日より1年間です。賛助会費は寄付金控除の対象になります。
一般・学生賛助会員は個人名でのお申込みに限らせていただきます。

いつでもボランティア大歓迎！！

ユニセフや世界の子どもたちに関心のある方はもちろんあなたの好きなことをユニセフ活動にいかしてみませんか？

♪絵や文章を書くのが好きな方

♪子どもが好きな方

♪手作りするのが好きな方

♪パソコンが得意な方

♪学習会の組み立てを一緒に考えてくれる方
などなど



山口県ユニセフ協会

〒753-0083
山口市後河原210番地
TEL083-902-2266
FAX083-928-5416
E-mail: info@unicef-yamaguchi.jp
URL: <https://www.unicef-yamaguchi.jp>

県協会地図



ボランティア登録、資料請求、その他お問い合わせ等は、事務局までご連絡ください。

また、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

受付日：月・火・水・木・金

受付時間：10:00～16:00

山口県教育会館の裏になります。